

# 「感動を生む食事」へ挑戦し続け 持続可能な社会づくりに貢献してまいります。

## ——経営課題・社会課題の 解決プロセスを事業の成長に

私ども日清医療食品は、1972年の創立以来、日々の生活に不可欠な「食」をテーマに、医療・介護・保育など社会のさまざまな分野で食事サービスを提供してまいりました。当社にとって、少子高齢化や医療費の高騰、気候変動や自然災害など多くの社会課題が山積するなか、事業を継続し、お客様のQOL<sup>※1</sup>に貢献し続けることは極めて重要な社会的使命であると考えています。

この使命を果たすためには、病院・社会福祉施設様や商品等の仕入先メーカー様など多様なステークホルダーの皆様の声に耳を傾けながら、食の安全・安心やおいしさの向上、安定供給といった食事サービスのテーマと向き合いながら、そのプロセスを事業の成長に結びつけていく「CSV(共有価値の創造)<sup>※2</sup>」の発想が不可欠です。

代表取締役社長  
菅井 正一

その実践として、当社は2001年に「セントラルキッチン」を設立したほか、2004年に高齢者向けの「ムース食」の提供を開始するなど、業界リーダーとして新たな試みに挑戦してきました。

また、食事サービス事業が求められるにつれ、当社の活動がステークホルダーや社会に及ぼす影響は年々増えています。その認識をもとに、コンプライアンスやリスクマネジメント、コーポレート・ガバナンス、環境対応などを一つひとつ強化してまいりました。

## ——ワタキューグループCSRビジョン をもとに次の50年につながる イノベーションを

世界では今、環境・社会・ガバナンスへの対応を示す「ESG<sup>※3</sup>」という新しい経営の物差しが注目を集めています。こうした潮流のなか、国連は「持続可能な開発目標(SDGs)<sup>※4</sup>」を掲げ、官民一体となって目標達成に取り組むことを提唱しています。一方、産業界においても、第4次産業革命と称される通信や自動化技術の革新、急速な少子化による人口減、経済のグローバル化のなかでの貿易問題など、私たちを取り巻く環境は激しく変化しています。

私は、こうした変化の時代であればこそ、中長期的な視点を持ち、かつ今まで

## ワタキューグループ基本方針

私達は創業時の原点に立ち寄り、

- お客様には仕事をさせて頂いている
- 仕入先には売って頂いている
- 協力企業の方々には仕事をして頂いている
- 会社のみなさんには働いて頂いている



という感謝の気持ちと謙虚な姿勢で何事にも接する社風を醸成するとともに、誰もが思いやりの心を持ち、互いに協力し、人に誇れる立派な会社に勤めて良かったと思えるグループにする。以上を礎としてワタキューグループの強固な石垣を構築するため社是を「心」とする。

の成功体験にとらわれることなく、チャレンジ精神をもって次の50年につながるイノベーションを起こしていくことが必要と考えています。その指針となっているのが、「社会課題の解決を通じて持続可能な食事サービスの提供を推進し、豊かな社会づくりに貢献する」というワタキューグループのCSRビジョンです。

このビジョンをもとに、当社は2012年、国の医療政策が施設から在宅へとシフトするなか、在宅配食サービス「食宅便」を開始しました。高齢者が地元で生活しやすくする国の「地域包括ケアシステム」構想において、配食サービス事業は地域の高齢者を支える社会インフラの一助にもなります。また、2017年には大量・多品種の食事づくりを自動化するセントラルキッチン、「ヘルスケアフードファクトリー亀岡」を新設しました。この工場は、これからの少子高齢社会を見据え、現在の給食事業のビジネスモデルの限界—多様化する食べる方のニーズへの対応や働き手不足などを打破し、安全・安心な食事はもちろん高品質な食事を安定供給していくための礎となります。さらに現在は、食事の原点となる「おいしさ」を究めるために、仕入先メーカー様の協力のもとでさまざまな食材開発を進めています。

一方で、地域貢献活動にも当社が持つヘルスケアフードサービスのノウハウを活かして継続的に取り組んでいます。社会福祉協議会やワタキューグループの株式会社フロンティアと協力して進める地域の高齢者ケアがその代表例で、こうした活動を展開していくことも当社の役割と捉えています。

多くの人々に感動していただける食事サービスへの挑戦を続け、持続可能な社会を実現していくために。日清医療食品グループはこれからも、業界のリーディングカンパニーとしての自覚と責任のもと、さらなる企業価値の向上と、社会に提供する価値の最大化を目指してまいります。

※1 Quality of Life(生活の質)

※2 CSV(共有価値の創造):Creating Shared Valueの略。企業の事業活動を通じて社会的な課題を解決し、「社会価値」と「企業価値」を両立させようとする考え方。

※3 ESG:環境(Environment)、社会(Social)、ガバナンス(Governance)の頭文字を取ったものであり、企業が中長期的な成長を目指すためにはこれら3つの視点が重要であるという考え方。

※4 持続可能な開発目標(SDGs):2015年9月に国連サミットで採択された、持続可能な世界を実現するための2030年までの国際目標。17の目標・169のターゲットで構成。

- 01 Top Message
- 03 グループ概要  
ワタキューグループの一員として
- 05 会社概要 1  
日清医療食品の価値創出
- 07 会社概要 2  
数字でみる日清医療食品
- 09 活動方針  
日清医療食品の重点テーマ
- 11 活動ハイライト
- 13 活動ハイライト01  
日産10万食、  
「ヘルスケアフードファクトリー  
亀岡」の更なる挑戦。
- 19 活動ハイライト02  
多様なお客様に求められる  
「おいしい食事」を。  
- やわら御膳  
- 食宅便  
- オリジナル商品の提案
- 23 活動ハイライト03  
～社員座談会～  
食べる方の笑顔をつなぐ  
私たちの想いと日々の工夫。
- 27 活動ハイライト04  
さらに安全・安心な食の実現へ。  
深化する衛生管理体制。
- 29 活動ハイライト05  
“想定外ゼロ”をめざして  
一平成30年7月豪雨での対応。

## 31 CSR活動

### 会社概要

●会社名	日清医療食品株式会社
●会社設立	1972年9月25日
●資本金	100,000,000円
●社員数	45,332名(2019年1月現在)
●主要取引先	全国各地の病院・医院 介護老人福祉施設 介護老人保健施設 保育所 など
●関連会社	ワタキューセイモア株式会社 他